

鳥獣の被害防止対策に活用できる国の交付金 (鳥獣被害防止総合対策交付金)

鳥獣被害防止対策として捕獲機材(箱わな・くくりわな)の購入補助や侵入防止柵の設置、狩猟免許取得事前講習会の助成などが受けられます。

1. 捕獲機材(箱わな・くくりわな)の購入助成

種類 (幅×奥行き)	獣種	仕様・最小目幅・径	上限単価
大型獣用 (3㎡以下)	イノシシ、シカ、クマ	防錆仕様: 10cm以下、5mm以上	119千円
中型獣用 (2㎡以下)	サル専用	防錆仕様: 7.5cm以下、3mm以上	88千円
小型獣用 (0.5㎡以下)	アナグマ、タヌキ等	防錆仕様: 5cm以下、1.6mm以上	19千円
くくりわな	イノシシ、シカ等	—	16千円

(注1)「仕様・最小目幅・径」は令和3年度から導入要件となっています。

(注2) 上限単価は1基あたりの税抜き価格です。

2. 侵入防止柵の設置助成

獣種等	種類	仕様・要件等	上限単価 直営施工	上限単価 請負施工
獣種共通	電気柵 (1段当たり)	支柱間隔4m以下。凸凹部や傾斜部は地面との隙間ができない支柱間隔とする	¥/m 148	¥/m 391
イノシシ	金網柵	金網の径は2mm以上とし防錆仕様	1,970	5,380
	ワイヤーメッシュ柵	金網の径は5mm以上とし防錆仕様	1,290	3,000
シカ (イノシシ用兼ねる)	金網柵	金網の径は2mm以上とし防錆仕様	2,790	7,620
	ワイヤーメッシュ柵	金網の径は5mm以上とし防錆仕様	1,950	4,530

(注1) ワイヤーメッシュ柵、金網柵はくぐり抜けを防止するため地際の補強等を実施する。

(注2) 上限単価は1mあたりの税抜き価格です。

(注3) 直営施工は資材費のみの定額交付となります。設置及び設置後の維持管理は、地域住民等で適切に行います。

(注4) 請負施工の場合の交付率は1/2以内です。

3. 狩猟免許取得事前講習会の助成

狩猟免許試験が行われる前に実施される事前講習会の参加費を助成(補助率1/2以内)します。

4. ICT機器の導入補助

捕獲の効率化・省力化を図るためのセンサーや通信機器等の購入費を補助します。(補助率1/2以内、定額)

※補助事業のご要望等は市町村の担当窓口にご相談ください。

鹿児島地域振興局 農林水産部 農政普及課	099-805-7264
南薩地域振興局 農林水産部 農政普及課	0993-52-1344
北薩地域振興局 農林水産部 農政普及課	0996-25-5530
始良・伊佐地域振興局 農林水産部 農政普及課	0995-63-8146
大隅地域振興局 農林水産部 農政普及課	0994-52-2140
熊毛支庁 農林水産部 農政普及課	0997-22-0044
大島支庁 農林水産部 農政普及課	0997-57-7333
鹿児島県 農政部 農村振興課	099-286-3114
鹿児島県 環境林務部 自然保護課(鳥獣保護及び狩猟に関すること)	099-286-2616

鳥獣被害防止
対策に対する
問合せ先

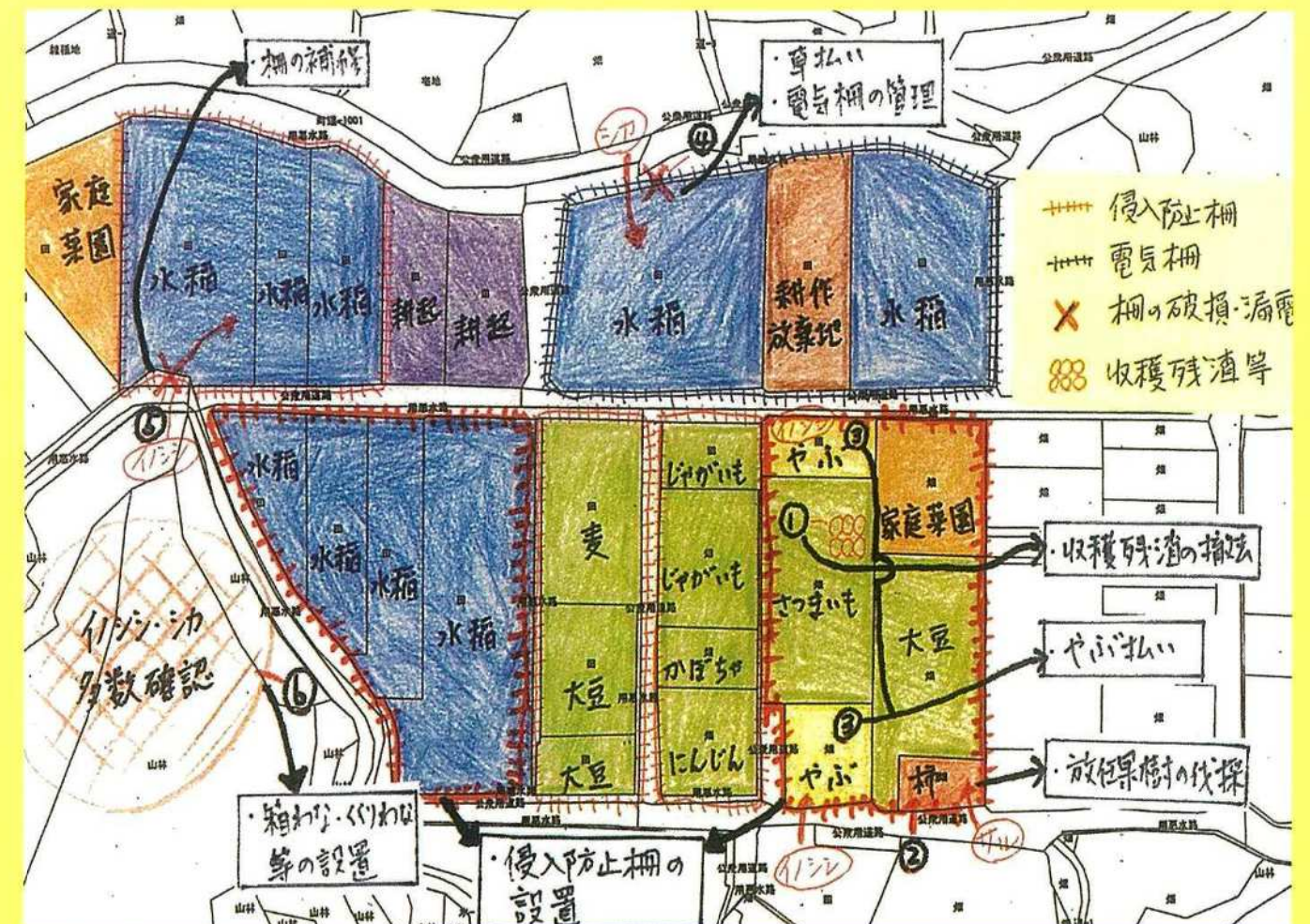
R5.2

集落ぐるみで鳥獣から農作物を守りましょう!

~ 主役は集落住民です! ~

集落点検地図の作成

集落住民で集落点検を行い、点検地図の作成、対策の記入等、みんなで話しあい実践しましょう。



放任果樹は伐採



ヤブ払いの実施



収穫残さは撤去

集落ぐるみの鳥獣対策

集落ぐるみで鳥獣を寄せ付けない取組を実践しましょう。

集落環境の点検

まずは被害状況や生息状況の実態把握と情報の共有化

実態把握の方法

1. 点検前の打合せ ・調査方法の検討（点検項目や点検ルート）、集落地図の準備
2. 集落点検の実施 ・集落内を点検し、明らかになった情報を地図や野帳に記入、カメラ撮影

点検の視点

- ・えさ場（放任果樹、野菜くず）となるものはないか
- ・すみか（荒廃農地等）となることや、けものみちはないか
- ・侵入防止柵の設置場所と管理状況は適切か

3. 出没情報の収集 ・過去に出没した地点や被害状況の聞き取り

情報の共有化

実態把握で明らかになった情報を地図に記入して、集落内で共有化



地図を使った情報の共有化

被害防止対策の実施計画の作成

目標：鳥獣にとって魅力のない集落づくり

実施可能な対策を話し合い、今後、実施すべき計画を作成

被害防止対策の実施

無意識の餌付けをしない

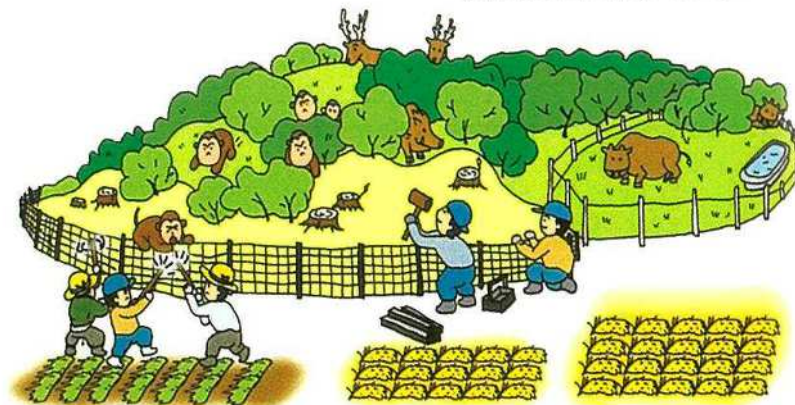
- ・放任果樹の伐採、落下果実の除去
- ・収穫残渣を放置しない
- ・二番穂（ヒコバエ）を処理する
- ・冬場の畦畔や法面では青草を出さない

人慣れをさせない

- ・道具や犬を使って追払いを行う
- ・全ての人が参加し、見過ごさない

農地に近づけさせない

- ・集落内のすみかや隠れ場をなくす（荒廃農地、茂み、ヤブの解消）
- ・集落内の見通しを良くする（牛の放牧、緩衝帯の設置、枝打ち等）
- ・侵入防止柵を設置する



集落ぐるみで取り組みましょう



ヤブの草払い



収穫残渣を放置しない

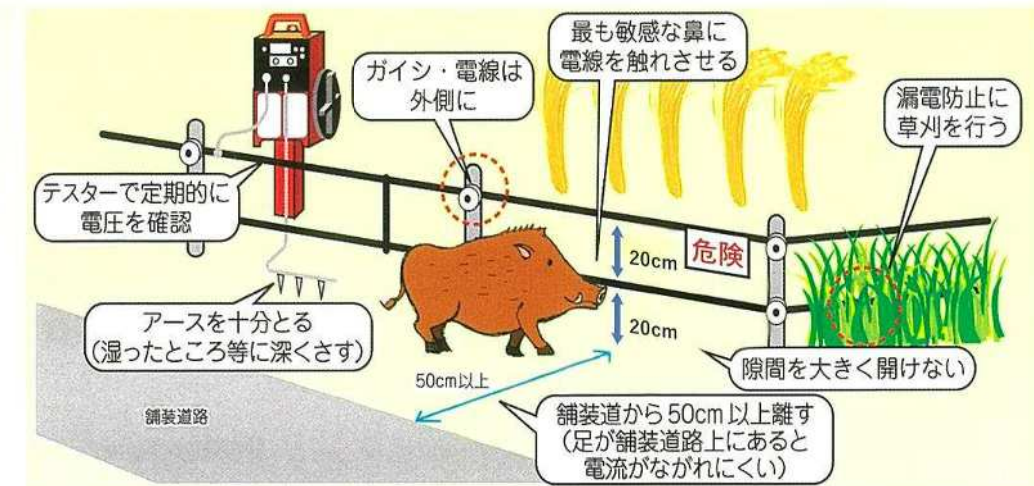
侵入防止柵の設置方法

設置方法や設置後の管理をあやまると十分な効果が発揮されません。

電気柵

設置・管理のポイント

- ・動物は電線の下をくぐろうとするので、1段目の高さは20cmとする
- ・アースは十分にとる（アース棒を地中に深くさす）
- ・アスファルト道やコンクリート道から30~50cm以上離して張る
- ・支柱の押し倒しを防ぐため、ガイシは外側に向ける
- ・安全には気をつける（「危険」の表示）
- ・支柱間隔は4m以下とする
- ・定期的な管理を行う（漏電させないための草刈や電圧確認）



ワイヤーメッシュ（金網）柵

設置・管理のポイント

- ・設置前になるべく整地してワイヤーメッシュと地面との隙間をなくす
- ・支柱は30~50cm程打ち込む
- ・（イノシシの）幼獣の侵入を防ぐには、下部の網目は10cm以下がよい
- ・傾斜が変わる所では、メッシュ同士を重ね隙間をなくす
- ・側溝など凹部をまたぐ場合は、カットしたワイヤーメッシュを設置
- ・金網の径は5mm以上とし、防錆仕様（亜鉛メッキ等）とする
- ・侵入防止柵周辺の草木が繁茂しないよう、定期的な柵周辺の草刈を行う

